

おカネで買えない大切なもの

竹林に行くと、子どもの頃に竹馬を作ってもらった時のことを思い出す。



①

日曜日に、お父さんと一緒に、家の近くの竹林に行った。

竹馬を作るといので、私も少し手伝った。

竹はけっこう重かったのを覚えている。



②

「切ってみる？」って言われたので、その時に初めてノコギリというものを持った。

お父さんの手を切ってしまうのか心配だった。



③

ケガしないようにとか、竹が割れてしまわないようにとか、色々細かいところに工夫しているお父さんは凄いと思った。



④

できあがったので、先に、お父さんが乗った。

凄い...、お父さん、ちゃんと乗れるんだ...。

そして、私に乗り方を教えてくれた。

私、乗れるかなあ。



⑤

日曜日には、お父さんが支えてくれたので、高くしても乗れるようになった。

そのとき、すごく嬉しかった。

色んなおもちゃを買ってもらったときよりも、何倍も嬉しかった。

子どもが大人になった時に鮮明に思い出すのは、お母さんや、お父さんが、直接何かをしてくれた時の事である。

何でも市販されている時代になった。竹馬も比較的安価で売られている。それを買って与えれば、同様の結果が得られると思ったら大間違いである。何倍も、何十倍も、いや、比較にならないほどの差がある。もし、この子が市販の竹馬を買って与えられていたのなら、大人になったときに竹林に行っても当時の思い出は決して蘇らない。